



令和6年度 「向上心をもって取り組もう！」 足立区立竹の塚中学校 学校経営プラン



令和6年4月1日
足立区立竹の塚中学校
校長 宮地 豊

<実態>：学校

・落ち着いた学習環境・生活環境の中で教育活動・学校運営が行われている。安定した入学者数確保が課題。

<実態>：生徒

・素朴で素直な生徒が多い。ボランティア活動に意欲がある。基礎学力の定着と学習意欲の持続、学習習慣の確立が課題。

指導方法の工夫

<学力向上アクションプランの実践>

- ・朝学習（月～金：10分）
- ・放課後補充教室（月～金：20分間）（国・数・英）
- ・宿題や家庭学習の充実（学習ノート等課題提示の工夫改善）
- ・意欲を高める教材・教具の工夫（AIドリル活用推進）
- ・授業研究を通じた指導方法の改善（ICT機器活用推進）

学習コンテスト

知・徳・体の調和のとれた、国際社会で信頼の得られる

- ・「深く考え進んで実践する」★自ら意欲をもって学ぶ生徒
：思考力・判断力・表現力の育成を通して
- ・「互いに尊重し平和な社会をつくる」★自他を尊重し、思いやりのある生徒の育成
：他者とのコミュニケーション能力の育成を通して
- ・「豊かな心と健康な体をつくる」★何事にも進んで活動する生徒
：社会性の基礎となる「自己有用感」の育成を通して

学習指導の充実

- ・「基礎・基本」を定着させ、学力の向上を図る
- ・個に応じた指導を基本に「分かる授業」の実践
- ・「魅力ある授業」「楽しい授業」を展開
- ・少人数・習熟度別指導等の指導方法の工夫・改善
- ・「達成感」「成就感」のある学習活動



指導体制の工夫

- ・学習活動の保障→生活指導員等の巡回⇒教職員の連携
- ・少人数・習熟度別指導等を活用した授業展開
- ・教科指導専門員による授業観察・授業改善
- ・安心して学習するための環境整備⇒相談活動の充実
- ・家庭学習の習慣化：家庭学習ノートの点検
保護者との連携協力⇒「家庭学習強化月間年4回」
- ・特別支援教室：『Progress Class』の運営

<竹中を誇りに! :「意欲」と「自信」を育てる! >

～質の高い授業を目指して～

きめ細かな学習指導と教員の授業力向上

- 結果分析と改善策を主眼にした授業の質の向上と授業改善
- 少人数・習熟度別指導等の指導方法の工夫・改善
- 達成感や成就感ある学習活動⇒「自ら学ぶ生徒参加型授業」⇔「楽しい授業」

保護者・地域との連携

- ・学校だより、学年だより、学級だより
- ・PTA活動との連携⇒連絡相談体制の構築
- ボランティア活動の推進＝「意欲」「自信」
- ・「開かれた学校づくり協議会」やOB会との連携
- ：竹の塚警察署との連携
- ：安心・安全なまちづくり活動



小学校との連携

- ・年7回の合同研修会の実施
- ・足立スタンダードの徹底及び検証授業
- <連携事業>
- ・「家庭学習強化月間」の実施
- ・補充教室協力（夏季休業）
- ・部活動体験
- ・連携授業：4分科会で実施
- ・児童会生徒会交流事業



地域に誇れる教師像

- ・生徒の人格を尊重し、使命感に燃える教師
- ・常に向上心を持ち、自らを高めようとする教師
- ・一人一人の生徒に寄り添い、生徒の能力向上と能力開発に全力をつくす教師

活力ある竹中＝「チーム竹中」「地域の竹中」

「輝く竹中生」とともに、「笑顔」あふれる学校！

めざす学校像

- ・全教育活動を通して確かな学力を身に付ける学校
- ・自ら学び、一人一人が目標をもって活動する学校
- ・生徒との信頼関係を指導の基盤とする学校
- ・保護者や地域から信頼され愛される学校